

補助事業番号 2020M-082
補助事業名 2020年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 和歌山県

1 補助事業の概要

① 目的

機械設備拡充補助事業により和歌山県内の中小企業単独では導入することが困難な機器を、当センターに配備し、それらを用いて支援することで、県内中小企業の技術力の向上及び事業基盤の強化に寄与することを目的としている。

② 実施内容

令和2年度は、当センターに誘導結合プラズマ（ICP）発光分析装置を導入した。本機器は、製品を構成する部材に含まれる複数の微量成分（金属元素など）を同時に高精度かつ高感度に測定する機器であり、特に製品中の不純物であるppmオーダーの微量元素を測定することができる。従来の機器ではフッ化水素酸及び有機溶媒を含む試料は測定できなかったが、本機器の導入により測定できるようになった。その結果、扱える試料溶液が増え、用途範囲が広がり、さらに高感度で迅速な支援が可能となった。

2 予想される事業実施効果

本県の国際競争に打ち勝つための新製品開発及び品質・信頼性の向上を図る企業に対し、品質保証及び管理をバックアップすることができる。その結果、県内企業が製造する製品の品質化、高付加価値化を達成することができ、県内産業の活性化及び競争力の強化が期待できる。

3 本事業により導入した設備

①誘導結合プラズマ（ICP）発光分析装置

(URL)

<https://www.wakayama-kg.jp/kiki/category/cat8/642.html>

設置場所：【和歌山県工業技術センター交流棟2階
共同実験室】



③ 本事業に係る印刷物等

機器紹介用ポスター

(公財) JKA 補助事業の機器紹介


和歌山県工業技術センター

(公財)JKAの自転車等機械振興補助事業により導入した機器を紹介
します。(公財)JKAは、競輪・オートレースの収益を広く社会に還元し、
社会貢献を果たすために様々な補助事業を行っています。

令和2年度(2020)導入機器
誘導結合プラズマ発光分析装置





株式会社アナリティクイエナ製 PlasmaQuant PQ 9000 Elite

- 機器の概要
 - ・試料溶液中の元素の種類と濃度がわかる装置
 - ・ppmレベルの元素を定性・定量分析が可能
 - ・高感度かつ高精度の多元素同時分析が可能
- 仕様
 - ・測定波長範囲(165~900nm)
 - ・測光方向(軸:アキシャル、側面:ラジアルの両方向)
 - ・オートサンプラ(15mLの試験管又は50mLの容器対応)
 - ・水素化物発生装置装備
 - ・フッ化水素酸及び有機溶媒導入専用キット装備
- 用途
 - ・機械金属材料、化成品、セラミックス、高分子、複合材料中の元素分析
 - ・電子部品中の有害重金属及び性能を低下させる金属の定量
 - ・塩素及び臭素の分析
 - ・フッ化水素酸又は有機溶媒を含む試料溶液中の元素分析

〒649-6261 和歌山市小倉60番地 電話 073-477-2880 FAX 477-2880 <https://www.wakayama-kg.jp/>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 和歌山県工業技術センター（ワカヤマケンコウギョウギジュツセンター）

住所： 〒649-6261

和歌山県和歌山市小倉60番地

代表者： 所長 四元 弘毅（ヨツモト ヒロキ）

担当部署： 化学技術部（カガクギジュツブ）

担当者名： 主任研究員 松本 明弘（マツモト アキヒロ）

電話番号： 073-477-1271

F A X： 073-477-2880

E-mail： wintec-jka@wakayama-kg.jp

U R L： <https://www.wakayama-kg.jp/>